



東広会ニュース

1月号

2014年(平成26年)

Vol.115

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

新春を祝う「賀詞交歓会」開催

新年恒例の東広会主催平成26年「賀詞交歓会」を1月9日(木)18時から飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催した。

交歓会には、東日本旅客鉄道(株)常務取締役事業創造本部長 森本雄司様、同執行役員事業創造本部副本部長 日野正夫様、同事業創造本部事業推進部門部長 平山惣一郎様、(株)ジェイアール東日本企画取締役交通媒体本部長 橋 修様、(株)東京メディア・サービス代表取締役社長 佐々亭様、公益社団法人日本鉄道広告協会会長 今木甚一郎様はじめ多数のご来賓をお迎えし、総勢約310名の参加者が懇親を深め、新年に相応しい賑わいで盛大な交歓会となった。

会場では、壇上での挨拶に代え森本雄司JR東日本常務取締役、小暮和之東広会会長の「新年のごあいさつ」が配られた。(挨拶文掲載)



新春を祝い、乾杯の音頭をとる
JR東日本 森本常務取締役

東日本旅客鉄道(株)常務取締役 事業創造本部長 森本雄司様ごあいさつ

新年にあたり年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別の御高配を賜り有難うございました。また、日頃よりJR東日本ならびに弊社交通広告をご利用いただき、誠にありがたく心から御礼申し上げます。

弊社の昨年を振り返りますと、政府の経済政策の効果などにより、個人消費や企業収益の持ち直し傾向が続く中、安全・安定輸送の確保とお客様サービスの向上に努めるとともに、新幹線・在来線ネットワークの利用促進策の展開等により、鉄道をご利用いただいたお客さまが前年比で増加

しました。

また、広告業界についても同様に復調の兆しが見え、それにとまない、交通広告も徐々に回復してまいりました。弊社としても、みどりの山手線が誕生して50周年を記念した「みどりの山手線ラッピングトレイン」を運行することで、車体広告の活性化を図り、また駅・車内のデジタルサイネージでは、洗濯指数やスポーツ速報などのコンテンツと連動した広告を放映するなど新しい試みにより、広告媒体の価値を高めて参りました。

弊社は、経営構想「グループ経営構想V」限りなき前進」を策定し2年目に入ります。究極の安全・サービス品質改革・地域発展への貢献といった「変わらぬ使命」を果たして続けること、技術革新・グローバル化の推進を通じたグループの「無限の可能性」を追求することで、「限りなき前進」を続け、信頼される生活サービス創造グループを目指してまいります。

今後も、本日お集まりいただいている広告会社様や広告主様に引き続きご愛顧いただける商品企画や、次世代の広告媒体の開発にお一層邁進していくことをお誓い申し上げる次第です。本年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康と各社様の益々のご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

東日本鉄道東京広告会会長 小暮和之あいさつ

2014年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は東日本鉄道東京広告会の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

昨年一年間を振り返りますと、いわゆる「アベノミクス」効果による株価上昇や未曾有の金融緩和、これに伴う企業業績の回復などにより、経済の先行きに明るさが見え、企業活動も徐々に活発化してまいりました。



中締めをする東広会 小暮会長

そのような中で、昨年は引き続きデジタルサイネージの設置拡大や既存交通媒体の価値向上、各種販売施策の展開などに注力してまいりました。

具体的には、J・A Dビジョンを新宿駅および吉祥寺駅に新設し、その結果トータルでは44駅334面まで拡大いたしました。また、トレインチャンネルも埼京線・川越線に新規導入し、すでに導入している山手線、中央快速線、京浜東北線・根岸線、成田エクスプレス、京葉線と併せて約21,200面を展開しております。

また、サインボードなど既存交通媒体についても全面的かつ計画的な老朽取替えなどに着手いたしました。

さらに、JR6社ネットワークセットの販売を新たに開始し、熱中症指数連動企画、洗濯指数連動企画など広告とコンテンツを連携させた各種企画商品の販売にも取り組んでまいりました。

本年も引き続き新規媒体の開発、既存媒体の価値向上に向けて様々な施策に取り組んでまいります。

何卒本年も倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と各社様の益々のご繁栄を心より祈念して、新年のご挨拶といたします。

商品パッケージを活用した 立体的な特殊ステッカーが登場！

乗客の視線に入りやすい位置に掲出ができる戸袋ステッカーで、商品パッケージを活用した立体的な特殊ステッカーが展開されている。

広告主はライオンで、「ストopp下痢止めEX」の商品告知を実施した。

戸袋ステッカーに本物の商品パッケージを貼り付けたような立体的なデザインでインパクトのある展開となっており、山手線等の電車利用者の関心を集めた。

展開期間は1月1日(水)から1月31日(金)まで。



特殊ステッカー展開

女性専用車中づりジャック 展開を実施！

中央線快速、中央総武線各駅停車、埼京線・りんかい線、京浜東北線・根岸線、常磐線各駅停車、青梅線・五日市線、つくばエクスプレスの女性専用車両で中づりジャック展開が実施された。

広告主はフジテレビで、新番組「医龍4」のPRが行われた。女性専用車両というターゲットが明確な車内の中づりすべて同一の広告主でジャックすることができ、展開は、女性専用車両利用者の関心を集めた。

展開期間は1月6日(月)から1月12日(日)まで。



女性専用車中づりジャック

<2013年度 第3四半期 媒体別売上実績> (単位:百万円)

媒体		第 3 四半期			
		2013年度	2012年度	前年比	増減
車両 メ デ ィ ア	3 線群 中づり	1,481	1,422	104.1%	58
	3 線群 まど上	1,127	1,088	103.5%	39
	ドア横新B	977	835	117.0%	142
	ステッカー	680	707	96.2%	-27
	東海道 / 宇都宮・高崎線、 地方線、新幹線 他	305	322	94.7%	-17
	ADトレイン等	194	184	105.5%	10
	車体広告	90	102	87.6%	-13
	トレインチャンネル	1,777	1,698	104.7%	80
計		6,630	6,358	104.3%	272
駅 メ デ ィ ア	駅ポスター	647	742	87.1%	-96
	SPメディア	628	720	87.2%	-92
	サインボード	1,997	2,037	98.1%	-39
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	165	162	101.9%	3
	J・ADビジョン	389	297	130.8%	92
	デジタルサイネージ	54	76	-	-22
	計	3,881	4,034	96.2%	-154
その他（工事 他）		34	22	157.9%	13
総計		10,545	10,414	101.3%	131

※SPメディア・サインボードには、旧横浜支店扱いの媒体売上(2011・2012年度)が含まれています。

J企「2013年度第3四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2013年度第3四半期売上は105億45百万円で、対前年101.3%の増収となった。メディア別では、車両メディアは前年度を上回り、対前年104.3%で2億72百万円増、一方で駅メディアは対前年96.2%で1億54百万円減となった。

■車両メディア(実績66億30百万円、対前年104.3%)

『3線群中づり』『3線群まど上』は、大口出稿が増加したこと等により、前年度を上回った。『ドア横新B』は積極的な販売促進を展開し前年度を上回った。『ステッカー』は、戸袋

ステッカーの販売が低調で、前年度を下回った。

『ADトレイン等』は、山手線への出稿増等により、対前年を上回ったものの、『車体広告』は、前年度を下回った。11月には「みどりの山手線ラッピングトレイン」第3弾(ナビタイ

ムジヤパン)が展開された。

『トレインチャンネル』は、企画商品等の積極的な販売や大口出稿増により、前年度を上回った。10月にはプロ野球「日本シリーズ2013」のコンテンツ放映、12月には「テレビ番組連動CM」の放映を展開した。

■駅メディア(実績38億81百万円、対前年96.2%)

『駅ポスター』は、「セット商品」「一般ポスター」ともに前年度を下回った。『SPメディア』は、「SPボード」「イベント」は前年度を上回ったものの、「集中貼り」「自動改札ステッカー」は前年度を下回った。

『サインボード』は、中野駅・大船駅・南越谷駅・蓮田駅・保土ヶ谷駅等で新規計画開発を行い、前年度に引き続き「予約販売」や「特別企画」等が展開された。

『J・ADビジョン』では、10月よりスポーツニュース写真コンテンツ「J・ADビジョンスポーツ」の放映が開始された。

『デジタルサイネージ』では、東京駅丸の内北口・南口ドームの「TOKYO MARUVISION」において、11月より全国主要都市と世界の主要都市の天気予報の放映が開始された。

原宿駅・大宮駅・成田駅・鎌倉駅で音が出る特殊ポスター展開を実施!

初詣客で賑わう新春の原宿駅・大宮駅・成田駅・鎌倉駅において「音が出る特殊ポスター」が展開された。

広告主はフォーシーズンズで、「ピザラ」の商品告知が実施された。

今回の展開は、広告面の上部にある小型のスピーカーからピザラのCMソングが流れるもので、初詣に出かける各駅利用者の注目を浴びた。展開期間は12月27日(金)から1月9日(木)まで。



原宿駅特殊
駅ポスター展開

池袋中央通路ビッグシートの展開を実施!

池袋駅で池袋中央通路ビッグシートが展開された。
 広告主はOUTBACKで、「OUTBACK STEAKHOUSE」のPRが行われた。

池袋中央通路ビッグシートは池袋駅中央通路の壁面に大型サイズのシート広告を掲出できるインパクトのあるメディアであり、今回の展開は池袋駅利用者の関心を集めた。
 展開期間は11月16日(土)から3月15日(土)まで。



池袋中央通路ビッグシート

東京中央通路電照デジタルシートセット広告を4週間連続展開!

東京中央通路電照デジタルシートセットを使った広告展開が4週間連続で実施された。

広告主は住友不動産で、「総合マンションギャラリー」のPRが行われた。
 今回の展開は、東京駅中央通路において、J・ADビジョン14面とシート広告14面を同時に活用して集中展開するインパクトのある展開が行われ、東京駅利用者の関心を集めた。
 あわせてトレインチャンネルでも展開が行われた。



東京中央通路電照デジタルシートセット

東京駅丸の内地下改札外でアドピラー広告展開を実施!

東京駅丸の内地下中央通路、丸の内地下南口の柱を活用した「アドピラー」のSP広告展開が行われた。

広告主は丸の内商店会・丸の内オアゾ商店会で、「丸の内SALE」のPRが実施された。

東京駅丸の内地下通路の柱を1つの広告主で集中的に展開されたSP広告は、東京駅利用者の注目を浴びた。あわせて「東京駅集中貼り」の展開も行われた。

展開期間は、「アドピラー」が1月2日(木)から1月8日(水)まで。「集中貼り」が12月31日(火)から1月8日(水)まで。



東京駅丸の内地下通路アドピラー

作業責任者安全講習会の開催

平成25年度下期「作業責任者安全講習会」が2月25日(火)〜28日(金)の4日間、池袋のメトロポリタンプラザビル12階第1会議室で開催される。

この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行う広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内で調査などを行う社員等も対象とした幅広い講習会となっている。

現在、作業責任者に登録されている方も継続受講者として全員が受講することになっており、受講されなかった場合は登録証が失効となるので注意してください。

※詳細は東京メディア・サービス

設備管理部安全指導課

(電話03・5391・1246)

会員名簿変更

・代表者変更

(株)アサソーデイ・ケイ(1月1日付)

アウトオブホームメディア局

局長 杉本 隆氏

鉄道広告(株)

代表取締役社長 法元 祐子氏

・住所変更(ビル名変更)

(株)近宣 東京支社 (1月20日付)

〒105・6106

東京都港区浜松町2・4・1

世界貿易センタービル6階